

第49回 出版研究集会

2023年2月10日～3月1日



分科会 1 2/10 ㊦ 18:30 - 20:30

個人情報の利活用だ！ さあ、あなたの
個人情報をマイナポイントと交換しよう！
でも、それってほんとうに大丈夫？

出版労連会議室 + Zoom

宮崎俊郎さん、原田富弘さん（共通番号いらないネット）

分科会 2 2/15 ㊦ 18:30 - 20:00

デジタル社会のデモクラシーを求めて
—— ビッグ・テックとの闘い

出版労連会議室 + Zoom

内田聖子さん（NPO 法人アジア太平洋資料センター [PARC] 共同代表）

分科会 3 2/20 ㊦ 18:30 - 20:00

「いいね」で名誉棄損？
SNS 時代の表現の自由講座

出版労連会議室 + Zoom

志田陽子さん（憲法学者、武蔵野美術大学）

分科会 4 2/24 ㊦ 18:30 - 20:00

文科省による「拉致問題関連本の充実」
要請問題を通して図書館の自由を考える

文京シビックセンター 4 階会議室 B + Zoom

松井正英さん（日本図書館協会・図書館の自由委員会委員 / 長野県諏訪清陵高等学校・附属中学校学校司書）

全体会 2/28 ㊦ 18:30 - 20:30

いま、本を読むこと・つくること
—— パンデミックと戦争のさなかに

文京シビックセンター 26F スカイホール + Zoom

撮影：嶋田礼奈



小川 公代さん
（英文学者、上智大学）

1972 年生まれ。専門は、ロマン主義文学、および医学史。著書に『ケアする惑星』『ケアの倫理とエンパワメント』（いずれも講談社）ほか。訳書にシャーロット・ジョーンズ『エアスイミング』（幻戯書房）ほか。



白石 正明さん
（編集者、医学書院）

1958 年生まれ。2000 年に立ち上げた「シリーズ ケアをひらく」は 2019 年に毎日出版文化賞を受賞。同シリーズの書籍は大宅壮一ノンフィクション賞、新潮ドキュメント賞、小林秀雄賞、大佛次郎論壇賞などを受賞。

分科会 5 3/1 ㊦ 18:30 - 20:00

教育 DX は何をもたらすか

出版労連会議室 + Zoom

児美川孝一郎さん（教育学研究者、法政大学）

参加費 1,000 円（全体会およびすべての分科会に参加できる通し券です） 期間限定のアーカイブ視聴あり

事前申し込みが必要です。

以下の URL からチケットをご購入ください。

<https://49syukken.peatix.com>



※メールでのお申し込みを希望される場合は、①氏名/②単組名（出版労連組合員以外の方は会社名などを任意で）/③メールアドレス/④会場参加したい全体会・分科会（例：「全体会、分科会③、分科会④」など）を記入し、件名を「49 出研集会申し込み」として、sakai@syuppan.net にお送りください。

主催 出版労連・第49回出版研究集会実行委員会

お問い合わせ 電話：03-3816-2911 / メール：sakai@syuppan.net（担当：坂井）

全体会

いま、本を読むこと・つくること —— パンデミックと戦争のさなかに

2/28 (火) 18:30 - 20:30

文京シビックセンター26F スカイホール+ Zoom

小川公代さん (英文学者、上智大学)、白石正明さん (編集者、医学書院)

本を読むことで、世界の見え方が変わっていく。スペイン風邪に伏せたヴァージニア・ウルフの作品や、カズオ・イシグロの戦争文学などの紹介を通じて、現在と過去を往還し、本を読む体験がもたらしてくれる豊かさを、あらためて参加者と分かち合いたい。そして、本をつくることのやりがい、楽しさ、困難を語り合い、共有したい。

分科会1

個人情報の利活用だ！さあ、あなたの個人情報を マイナポイントと交換しよう！

でも、それってほんとうに大丈夫？

2/10 (金) 18:30 - 20:30 出版労連会議室+ Zoom

宮崎俊郎さん、原田富弘さん (共通番号いらないネット)

国はマイナンバーに様々な個人情報を紐づけるべく、保険証や免許証の機能をマイナカードに持たせるなどの政策を打ち出し、税金を使ったポイント付加と併せてマイナカードの所持数を増やそうとしている。しかしマイナンバーを含む特定個人情報の取り扱いが法律で厳しく規定され、漏洩等に対しては罰則も科せられる。出版界でデジタル化が進むのと同時に、今あらゆる情報のデジタル化が急速に進んでいる。そこで、携帯が必要な保険証や免許証のマイナカード統合を通して、デジタル化とは、そして情報の利活用とは何か、考えてみたい。

分科会2

デジタル社会のデモクラシーを求めて —— ビッグ・テックとの闘い

2/15 (水) 18:30 - 20:00 出版労連会議室+ Zoom

内田聖子さん (NPO法人アジア太平洋資料センター [PARC] 共同代表)

本分科会は『世界』(岩波書店)に「デジタル・デモクラシー」を連載されたPARCの内田聖子さんを招いて行く。表現・知識・情報の流通がビッグ・テックに独占され、その集積と分析によって、いまや監視資本主義とでもいうべき状況にある。これに対して世界で民主主義を求める闘いや巨大IT企業に対する労働運動が巻き起こっている。この状況を内田さんに聞き議論する。

分科会3

「いいね」で名誉棄損？ SNS時代の表現の自由講座

2/20 (月) 18:30 - 20:00 出版労連会議室+ Zoom

志田陽子さん (憲法学者、武蔵野美術大学)

SNSはいまや出版活動にとっても必須のツール。気軽に発信できる一方で、紙媒体と同様に、名誉棄損や肖像権・著作権侵害への規制が課され、差別的表現や性表現といった論点がある。誹謗中傷によるネットリンチ、ポリティカル・コレクトネス、炎上やいわゆる「キャンセル・カルチャー」をふくめ、SNSでの表現の自由をめぐる実践的な問題について、憲法学者とともに考える。

分科会4

文科省による「拉致問題関連本の充実」 要請問題を通して図書館の自由を考える

2/24 (金) 18:30 - 20:00 文京シビックセンター4階会議室B+ Zoom

松井正英さん (日本図書館協会・図書館の自由委員会委員/長野県諏訪清陵高等学校・附属中学校学校司書)

2022年8月、文科省は全国の図書館に対し、12月の北朝鮮人権侵害問題啓発週間での「拉致問題に関する図書等の充実への御協力」を發した。日本図書館協会は「図書館の自由を脅かす。是認できない」と懸念を表明した。この問題を通じて図書館の自由やあり方、賛否のあるテーマに関する選書のあり方、図書館の自由と出版人の関わり等について、講師とともに考える。

分科会5

教育DXは何をもたらすか

3/1 (水) 18:30 - 20:00 出版労連会議室+ Zoom

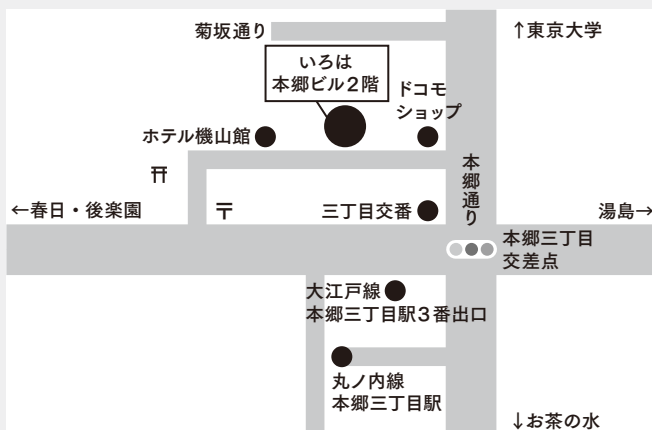
児美川孝一郎さん (教育学研究者、法政大学)

GIGAスクール構想の先にある「教育DX」は、子どもの学びや教師の指導を変え、さらには学校や公教育そのものの転換をもたらそうとしている。その行き着く先は、公教育の「自己責任化」、「市場化」、「統治システム化」ではないだろうか。この国の教育・教科書は、どこへ向かおうとしているのか。私たちが、今、注意しなければならないことは何か。

※会場は毎回異なるのでご注意ください。

●出版労連会議室

東京都文京区本郷 4-37-18 いろは本郷ビル 2F
(丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目駅」徒歩3分)



●文京シビックセンター

東京都文京区春日 1-16-21 (丸ノ内線・南北線「後楽園駅」徒歩1分、三田線・大江戸線「春日駅」徒歩1分、総武線「水道橋駅」徒歩9分)

